

<p>1. 川西市の重点方針</p> <p>元気でうれしいのあるオンリーワンのまちづくりを実現するため、第4次総合計画後期基本計画「笑顔・ときめき川西プラン」に掲げる次の3点を重点を置いて施策展開を図ります。</p> <p>①次代を担う子どもたちが健やかに育つ環境づくり ②市民の笑顔と元気がみなぎるまちづくり ③市民とともに築く未来に向けたまちづくり</p>	<p>2. 子育て部のサービス対象者</p> <p>①子ども(青少年を含む)・・・地域、家庭、施設などでの安心・安全を求めるとともに、遊びの場、機会とあわせて居場所を求めている。 ②子育て中の家庭・・・経済的支援や育児相談や仲間作りなどの支援を求めている。 ③共働き中の家庭・・・保育所整備・保育サービスの充実のほか、経済的負担の軽減並びに学童保育の拡充を求めている。 ④ひとり親家庭・・・直接的な経済支援のほか、自立につながる就労支援等を求めている。</p>	<p>3. 子育て部を取り巻く経営環境</p> <p>1. 対外的 支援対象としては、①子ども・青少年、②子育て中の家庭、③共働き世帯及び④ひとり親家庭など、広範な範囲に及んでいる。また、支援の内容も、子育てに関する相談や子育てと就労の両立支援、経済的支援、子どもの育ちへの支援など様々である。特に、近年、大きな社会問題となっている児童虐待に関しては、早期発見や予防につながるため啓発活動をさらに充実させるとともに、関係者の連携の強化によるきめ細かな対応が求められている。 また、これらの事業を進めるにあたって、法律に基づく事業、国・県の補助対象となる事業や市独自の事業などいろいろな形態がある中で、市民ニーズや財源の確保などの面からの検討が引き続き求められている。</p> <p>2. 対内的 保育所や育成クラブ、プレイルームなど多数の庁外施設があるが、定期的・定例的な情報交換の場を設定するなどの取り組みを展開し円滑な情報共有に努めていく必要がある。</p>
---	---	--

<p>4. 子育て部がめざす姿</p> <p>～ 子どもたちが夢を上げ、子どもとおとなが育ち合うまちづくり ～</p> <p>1. 対外的 ①子どもを安心して生み育てやすい環境をつくることにより、元気あふれるまちになっている。 ②子育てと仕事が両立できるまちになっている。 ③だれもが高い意識をもち、地域で互いに支えあうことで悲惨な児童虐待のないまちになっている。</p> <p>2. 対内的 ①個々の職員が問題意識と幅広い視野を持ちながら、チームワークよく組織目標の達成に向かっていく組織 ②保育所や育成クラブ、プレイルームなどの庁外職場とのコミュニケーションが効果的に図られている組織</p>

<p>5. 子育て部の現状</p>		
<p>(1)重要成功要因</p> <p>1. 対外的 市民ニーズを的確に把握し、事務事業への反映に努めていく。また、まちぐるみ・地域ぐるみで子育てを支援しようという意識の醸成を図るとともに、ボランティアの一層の活用に関する検討を進める。</p> <p>2. 対内的 先進都市の事例研究などを積極的に進めることにより、幅広い知識を得るなど職員個々のスキルアップをさらに図るとともに、部内の情報共有をさらに進めるため、ミーティング方法の検討や庁外職場との情報交換の手法に改善を加える。</p>	<p>(2)経営上の強み</p> <p>①部幹部層における強力なリーダーシップが発揮されている。 ②課題に対して新たな取り組みが展開されている。 (情報伝達キーパーソンの設置、子育て支援情報のメール配信、職員のさらなる意識改革に繋がる使用済み切手の収集など) ③新たな課題への効果的対応を目指し、部内組織の再編整備がなされている。 ④将来を担う子どもを安心して生み育てられる環境の整備は、川西市はもとより我が国全体を通じた最重要課題であり、個々の職員にはこれに関わっているという誇りがある。 ⑤各種の計画策定作業を通じて実施したアンケート調査により、市民ニーズの的確な把握がなされている。 ⑥各課レベルで、所属長はもとより先輩職員によるOJTを進める土壌がある。 ⑦保幼小連絡協議会や要保護児童対策協議会や県などとの間で年々連携が強化されている。 ⑧保育士、栄養士、保健師など豊富な知見を有する専門職がいる。</p>	<p>(3)経営上の課題</p> <p>①市民の満足に向けて</p> <p>①各種のイベントや相談者等に対するアンケートによる継続的なニーズ把握 ②市の考え方や取り組み内容に対する理解を得るための多様な手段を用いたPRの充実</p> <p>②組織体質の改善に向けて</p> <p>①多数の庁外施設との間における部の経営方針に関する情報共有 ②気軽な提案、気づきの意見など、形式にとらわれない方法での改善意見表明制度の導入 ③使用済み切手などの収集による社会貢献活動の継続によるモチベーションの向上 ④自由闊達な意見交換の場を通じた市民満足度向上を意識した組織風土づくり</p>

<p>6. 子育て部の重点目標</p>
<p>(1)市民満足度の向上に向けて</p> <p>■イベント参加者に対するアンケート調査の実施 ■子育てイベント情報のメール配信 ■各種相談内容のデータベース化 ■部内実務担当者による広報連絡会の設置</p>
<p>(2)組織体質の改善に向けて</p> <p>■職員によるちょっとした提案制度の新設 ■積極的な先進地調査の実施 ■社会貢献活動の継続</p>

<p>7. 子育て部の目標</p>							
<p>指 標</p>	<p>H19実績</p>	<p>H20実績</p>	<p>H21実績</p>	<p>H22実績</p>	<p>H23末目標</p>	<p>H24末目標</p>	
<p>① 施策評価指標</p> <p>1 子育てがしやすいと感じる市民の割合(上昇) (%)</p> <p>2 母子自立支援制度を利用し、就労に結びついた割合(%)</p> <p>3 児童扶養手当受給資格者に対する全部支給者の割合(%)</p> <p>4 認可保育所入所定員(4月1日現在) (人)</p> <p>5 留守家庭育成クラブが楽しいと感じている子どもの割合(%)</p>	<p>22.6</p> <p>94.7</p> <p>51.0</p> <p>1,035</p> <p>82.0</p>	<p>25.3</p> <p>87.5</p> <p>46.2</p> <p>1,050</p> <p>-</p>	<p>24.3</p> <p>91.7</p> <p>46.4</p> <p>1,170</p> <p>-</p>	<p>28.2</p> <p>23年8月に集計</p> <p>51.5</p> <p>1,140</p> <p>83.2</p>	<p>29.1</p> <p>97.3</p> <p>49.6</p> <p>1,390</p> <p>86.6</p>	<p>30.0</p> <p>100.0</p> <p>47.6</p> <p>1,480</p> <p>90.0</p>	
<p>② 市民満足度向上目標</p> <p>6 イベント(子育てフェスタ)参加者の満足度(%)</p> <p>7 子育て情報メールの配信件数</p> <p>8 配信メールに対する満足度</p>	<p>85.0%</p> <p>-</p> <p>-</p>	<p>58.0%</p> <p>-</p> <p>-</p>	<p>89.0%</p> <p>-</p> <p>-</p>	<p>58.0%</p> <p>-</p> <p>-</p>	<p>74.0%</p> <p>20回</p> <p>50.0%</p>	<p>90.0%</p> <p>30回</p> <p>60.0%</p>	
<p>9 先進地施策調査延べ件数</p> <p>10 仕事の改善につながる提案件数</p> <p>11 使用済み切手・プリペイドカードの収集</p>	<p>-</p> <p>-</p> <p>-</p>	<p>-</p> <p>-</p> <p>-</p>	<p>-</p> <p>-</p> <p>-</p>	<p>-</p> <p>-</p> <p>64800枚</p>	<p>15回</p> <p>20件</p> <p>継続</p>	<p>15回</p> <p>30件</p> <p>継続</p>	